

P7~12 浮遊魔法を習得した！

異世界100人斬り 2

新刊先行版

モノクロ

6 ページ

日本語 | 中文版 | English



#06 浮遊魔法を習得した！



ギルドの酒場は
めずらしく閑散としている

この日になると
俺はいつもここに来て
貸し切り気分を味わう







アホか



フンッ!
造作もないわ
こんなの
下に押したら
いいじゃない



えっ?!
魔法を解く?
でも解除の仕方は
まだ先生に
教わっていないし...



だったら...

でも魔法が
解けていないのも
事実...

貴様のようなザコ人間を
助けようとしてるだけ
ありがたく思っただけなのに
文句なんかよく言えるわね



人のアソコを
踏みつけちゃダメだろ

魔法使いのくせに
解き方がいくら何でも
物理的すぎるんだよ

しかも
魔法も全然
解けていないし



尻で押さえたら
文句はないん
でしょ!

え!?!
ズボンを
開ける必要
なくない!?

ズボン越しで押して
後で貴様に痛がられても
面倒だから

私はそんな
くだらない泣き言を
聞く暇なんてないわ

男は皆ズボンの中に
こんな大きなものを
ぶら下げてるの?
大変そう...

どう?
下がるように
なってきた?

元は浮遊魔法が
かかっただけなのに
今となってはもう
普通に立って
しまってる...



ちょっと待て…
何してるの？

先生が言うには
男のアソコなんて
貴様は私に
感謝するがいいわ

ここに入れて
白い何かが出してしまえば
しばらくすると
誰でも萎えしぼんでいくの
だから

ずる



ん…
どうなの
白い何かが
出そうになった？

…えーと
これだけじゃまだ
出ないんじゃないかな
もう少し刺激を
与えないと



あわわわ…
なに？
この感覚…



男は胸を見ると
興奮するものだ
先生が言ってた…

なら私の胸を
見るがいい
これではやく
終わらせよう

胸まで
出しちゃったよ…

わかった
君の誠意を
認めよう

ブルン

ブルン



